

様式第4号(第5条関係)

令和 6 年 4 月 3 日

菊池市議会議長

様

議員名

木下雄二

令和5年度政務活動費収支報告書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 240,000 円

2 支出

(単位 円)

項 目	金 額	備 考
会議研修費		
調査研究費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	254,670	議会通信印刷代
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費		
合計	254,670	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円(支出が収入を上回る場合は0を記入)



領 収 証

木下雄二

様

No.

★

7254670-

但 市議会通信印刷代として

令和6年3月28日

上記正に領収いたしました



内訳	税率	金額(税別税込)	23,518
	10%	消費税額等	2,352
	税率	金額(税別税込)	
	%	消費税額等	

登録番号T5810399699949

メニュー屋さん鹿本店

〒861-0304 熊本県山鹿市鹿本町御宇田722-1

TEL0968-42-3075 FAX0968-42-3076

代表 松 茂 文 代

御 見 積 書

木 下 雄 二 様

2024年3月21日

メニュー屋さん鹿本店

〒861-0331 山鹿市鹿本町御宇田722-1

TEL.0968-42-3075

FAX.0968-42-3076

下記の通りお見積もり申し上げます

品 名	仕 様	数 量	金 額
市議会通信	サイズ:297×628ミリ 用紙:コート90k カラー両面印刷代 ※三ッ折加工代含む	5,500枚	¥ 219,670-(税込)
	製作代 写真23点・加工代	一 式	¥ 35,000-(税込)
	合 計		¥ 254,670-(税込)

いつもお世話になります
ご検討を宜しくお願い致します

未来の菊池をみなさんと



木下雄二

菊池市議会報告

(令和五年度 市議会定例会)

ごあいさつ

私、木下雄二は市議会議員として27年間、現場第一主義で活動をして参りました。特に2期から一回も欠かさず一般質問をさせていただきました。市民の声を議会で発言することを公約として、今後も住民一人ひとりが「幸せ感」を持てる地域づくりを目指して参ります。ここに私が本会議で行った質問事項を要約し報告させていただき、さらに初心を忘れず努力して参ります。どうぞ、この熱意をご理解いただき、ご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



▲ 菊之池小学校敷地内に新設された学童保育施設

菊池市議会 木下雄二 一般質問集

■ 竜門ダムの未利用水の TSMC 等の活用

木下 竜門ダムの未利用水のTSMC等、半導体関連企業への活用については、基本は農業用水であるが、関係自治体との連携によって市の活性化に結びつく対応が必要だが現状は。

答弁 水源涵養は、竜門ダムの給水の可能性調査が続いている状況であり、結論を待っている状況である。また、活性化の件は、日本ダムアワードでイベント賞を受賞する等、官民連携による活性化の効果が出ており、続けていきたいと考えている。



▲竜門ダム

■ 市営住宅の指定管理について

木下 市営住宅入居者のサービス向上と経費削減を目的に管理を民間に委託したが、トラブルが発生している。今後の指定管理者の監視体制は。

答弁 市が委託している市営住宅管理センターに、できる限り即日対応すべき事案であった旨を指導した。

■ ジュニアスポーツ育成ゆうり基金の活用の状況は

木下 菊池市在住であったプロゴルファー不動産裕理様の寄付金を原資として設置された基金の状況は。

答弁 これまで延べ232件、約293万円を補助金として交付し、数多くのジュニアスポーツの育成支援活動を行った。

木下 市職員の市外からの勤務状況は。

答弁 職員数449人、うち市外居住者147人である。(R5.4.1)

木下 熊本地震等の災害時の参集や、菊池市内における自治体活動への参加、今後の市の財政の観点からの通勤手当、住宅手当等の削減のために地元在住を促すべきだが、現状は。

答弁 令和4年度の通勤手当は支給総額約2,498万円うち市外居住者140人、約1,601万である。住居手当は、支給総額約2,520万円うち市外居住者37人で約999万円である

年度毎職員数及び市外居住者数 ※再任用職員等を除く

令和5年9月12日提出

各年4月1日現在	職員数	うち市外居住者
平成20年	職員数 555人	うち市外居住者80人
平成30年	職員数 475人	うち市外居住者128人
令和5年	職員数 449人	うち市外居住者147人

平成29年 第3回定例会予算決算常任委員長報告での提言

災害時における職員の参集や菊池市内における自治体活動への参加、通勤手当の削減のために、職員の地元在住を促すべきである。

(他にも、地域貢献の観点から私も含め複数の議員より市外居住職員のふるさと納税の推奨が一般質問等で要望されております。)

■ 道路整備について

木下 ①国道387号の迂回路千畳河原への観光ルートの古川伊倉線

②高野瀬区の住宅密集地の狭隘道路高野瀬1号線

③みゆき保育園隣接の狭窄区間北宮1号線の整備は

答弁 ①上部工及び地盤改良を含む道路拡幅工事を発注し、早期完了を目指す

②残る約28mを今年度中に施工、完了の予定である。

③本年4月より用地買収を行い、現在は工事を完了している。



▲古川伊倉線・改修工事



▲高野瀬1号線



▲北宮1号線

■ 迫水小学校跡地のエミュー観光牧場の現状と地域貢献について

木下 平成30年6月の進出協定式での迫水小学校跡地のエミュー観光牧場併設のレストランの地元雇用、地元食材の活用、災害時の避難所開放等、事業計画による地域貢献の遅れ、鳥インフルの防疫対策の対応は。

答弁 地域貢献については、菊池市への進出理念であり、当初の予定どおり何ら変わるものではありません。また、物価高騰等の社会情勢の変化に対応しながら、継続力のある企業進化を目指すものであるとの報告をいただいている



▲熊本県菊池エミュー観光牧場(株)

■ 免許証返納者への支援

木下 高齢ドライバーの運転免許証自主返納者に対する支援が他自治体に比べて極端に少ない状況であるが拡充する考えは。

答弁 高齢ドライバーの免許証返納については、他市町村の支援内容と支援状況も参考にしながら、今後、十分に調査研究したい。

木下 菊池市公共施設等総合管理計画の見直しの必要性は。
答弁 示している推進スケジュールは、あくまでもめどである。

木下 菊池市公共施設等総合管理計画は、市民に選択権を与えない意見を一方的に押し付けている状況だが、見直しの考えは。



▲地域移管計画の迫間支館（避難所、投票所、集会所）
※地域移管（自治会・町内会等への譲渡、払い下げ）
※迫間支館は地域移管の場合、一世帯あたり年間約2,400円の負担となる。

答弁 スケジュールは、あくまでもめどであり、今後の合意形成の状況に応じ、適切に進めていきたい。



▲廃止の計画の重味グラウンド（ドクターヘリ発着所・避難場所）
※地域の催事、イベントの時、駐車場としても利用されている

迫間支館および重味グラウンドを公共施設として存続を求める陳情書を令和6年第1回定例会に迫間地区区長会、水迫地区区長会より提出していただきましたが、付託された総務文教常任委員会で継続審査となりました。

〔陳情項目〕

- (1)迫間支館については、これまで同様、市の管理運営による体制を維持していただき、指定緊急避難所としての拡充をすること。
- (2)重味グラウンドについては、ドクターヘリポートとしての重要性を認識していただき、住民の命をつなぐため、市で管理すること。

■森林環境譲与税の活用状況について

木下 森林環境譲与税を活用した市道、農道、及び林道に隣接する危険木の予防伐採事業の申請状況と今後の拡充について。

答弁 申請実績は、令和4年度13件、本年度11件の予定であり、大変多くの方に好評であるため継続していきたい。



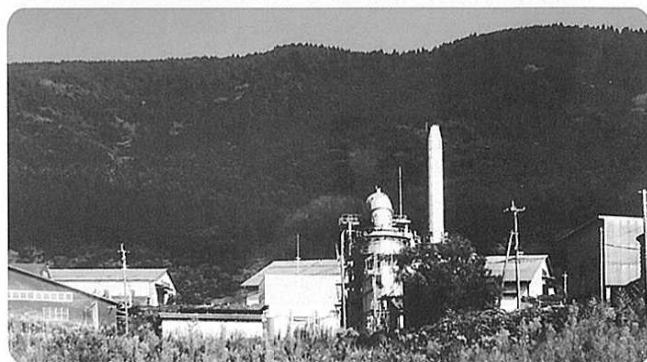
◀古川伊倉線の危険木

■九州産廃菊池事業所廃止後の水迫地区への対応

木下 長い間、九州産廃問題等で苦勞された水迫地区への環境整備基金の活用について、令和5年度区長会より市に要望書が提出されたが今後の対応は。

答弁 関係区長へ確認、必要に応じ関係住民への聞き取りや現確認等を行い、庁内で協議し、基金の積立状況を考慮しながら、条例に基づいた活用を行いたい。

※環境整備基金 残高 約1億1,900万円

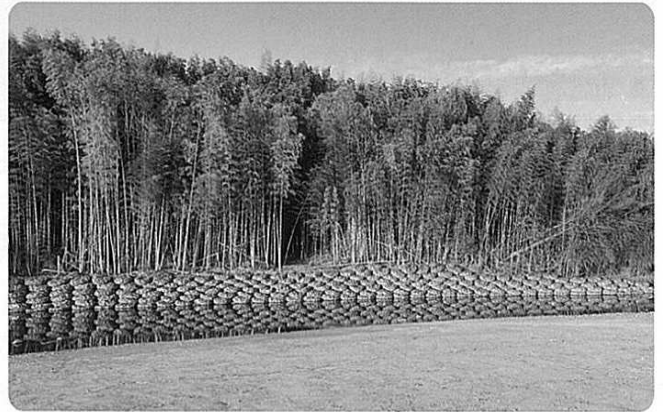


▲営業停止の九州産廃（株）

【竜門ダム流域対策協議会要望活動】

平成15年に協議会設立後は毎年ダム流域を代表する委員からの要望を取りまとめ国土交通省菊池川河川事務所、熊本県北広域本部に要望活動を続けてまいりました。これまで本協議会からの要望に対して積極的に取り組んで頂いておりますが、今後も継続的な推進をお願いしてまいりますので関係者の皆様のご協力をお願い致します。（有働伸也副会長（雪野区長）に同行頂き要望活動：令和5年1月17日）

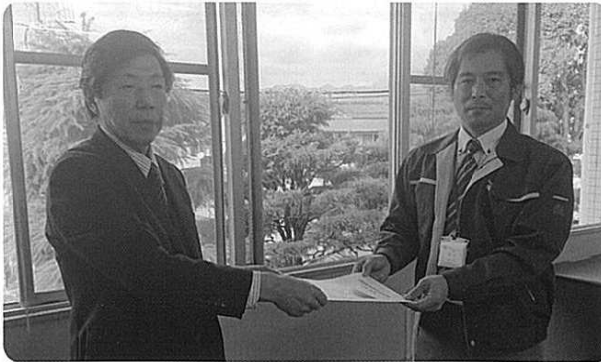
国土交通省菊池川河川事務所



▲迫間川の護岸整備(袈裟尾・神来地区)

山崎堰上流の護岸が洗堀され、山崎堰及び取水口に竹等が引っかかるので、護岸整備等を国への要望によって完了致しました。

熊本県北広域本部



▲寺小野区納骨堂付近迫間川右岸側整備(寺小野区)

迫間川寺小野区納骨堂付近右岸側に溜まった土砂の撤去を県への要望によって完了致しました。

菊池市給水条例の一部を改正する条例の制定について

令和5年9月定例会での木下雄二提案理由議事録

木下 議案第60号について、反対の立場で討論をさせていただきます。

今回の提案については、第2回定例会の否決から間髪を入れずに提案されたことに大変驚いております。前回の否決によって、検針員の方々も心新たに市民の大切な水道水を守るために、使命感を持って、今後も取り組んでいこうと考えておられた矢先に、今回の提案によって、自分たちの生活ができなくなると大変心配されておられます。

私は、当初から、水道局の指定管理を福岡県の業者に委託していることに対して、地場産業育成の観点から反対を続けておりますが、現在の菊池市は、水道局が5年間で約2億5,700万円、菊池市文化会館等を熊本市内の業者に5年間で約1億8,900万円、その後も令和3年度からは市営住宅の管理まで、5年間で約4億円を9割の出資比率の熊本県の業者に委託してしまいました。

このように、市の重要な市民の直接関係のある事業を市外に委託していますので、結果的には税収と地場産業育成の観点からは、地域経済の活性化には結びついていない状況であります。

今回の条例改正によって、私が指定管理で一番危惧していた市民の雇用が守られない可能性があります。行政は、市民の命、生活を守ることが最優先でなければならないと考えており、私は菊池市公共施設等総合管理計画についても、避難所に指定されている各支館の廃止、地域移管、ドクターヘリの発着場に指定されている重味グラウンドの廃止については、地元の代弁者として反対をしております。

私は、一貫してこれまで、市民の痛みの前に、議会としては定数削減により身を切る改革、市は各種イベント等政策の見直し、市職員の市外勤務の通勤手当、令和4年度約1,601万円、住居手当等約999万円の検討による経費削減を図る必要があると考えます。

今回の検針の変更については、菊池市民である検針員の方々に対しての配慮がまだまだ不十分であり、また漏水等の問題も市民からの不安の声が届いております。検針員の皆様が誰一人納得されていないとのことであり、これまで長い間、特に私の地元のような中山間地域にとっては、住民の安否確認、見守りを兼ねた検針をやっていたのであります。

先ほど申し上げましたが、現在の菊池市の政策は優先順位が間違っており、市民の命を守る、そして何より検針員の方々の生活を守る（検針員の賃金が半分となる）ことが最優先でなければなりません。

今回も経済建設常任委員会では否決であり、適切な判断をしていただいております。委員会の決定と私の反対討論をご理解いただき、ご賛同をよろしくお願いいたします。

議案第60号			菊池市給水条例の一部を改正する条例の制定について (水道メーター検針を2ヶ月に1回に変更)																	原案可決		
議 案	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	本藤	安武	稲継	古田	島	大山	田中	福島	緒方	後藤	平	東	水上	猿渡	荒木	工藤	二ノ文	泉田	木下	山瀬
			賛成	反対	潔	睦夫	智康	浩敏	春代	宝治	教之	英徳	哲郎	英夫	直樹	奈津子	隆光	美智子	崇之	圭一郎	伸元	栄一朗
議案第60号	可決	12 対 7	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	／	●	●	○	●	○	●	○

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 除は除斥 /は議長職時



プロフィール

昭和32年11月27日菊池市森北生まれ

昭和54年 東京観光専門学院卒業

(現)菊池市議会議員・7期

(現)総務文教常任委員会委員

(現)竜門ダム流域対策協議会会長

(元)菊池環境保全組合議会議長

(元)企業誘致促進特別委員会委員長

(元)菊池養生園保健組合議会議長

(元)菊池市立北小学校PTA会長

青少年育成アドバイザー

ホームヘルパー2級



木下雄二 〒861-1684 菊池市豊間1388-3 電話・FAX(0968)24-1163